



TP（技術資料）

単心系光コネクタに関する JIS の継続性の確認のための アンケート調査

(Questionnaire survey on the confirmation of the continuity of JISs for
simplex optical connectors)

OITDA/TP 34/CN : 2021

第 1 版

公表 2021 年 3 月

取纏委員会
光コネクタ標準化部会

The OITDA logo consists of the letters "OITDA" in a bold, sans-serif font, with the "O" and "I" being slightly larger and more prominent than the other letters.

発行：一般財団法人光産業技術振興協会
Optoelectronics Industry and Technology Development Association (JAPAN)

目 次

ページ

序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 調査の背景	2
5 アンケート調査の内容及び結果	2
5.1 2009年度のアンケート	2
5.1.1 概要	2
5.1.2 立場に関するアンケート	2
5.1.2.1 アンケート内容	2
5.1.2.2 アンケート結果	3
5.1.3 単心系光コネクタ提供状況に関するアンケート	3
5.1.3.1 アンケート内容	3
5.1.3.2 アンケート結果	3
5.1.4 単心系光コネクタ日本工業規格（JIS）の使用（参照／比較）状況	3
5.1.4.1 アンケート内容	4
5.1.4.2 アンケート結果	4
5.1.5 単心系光コネクタ使用／評価状況	4
5.1.5.1 アンケート内容	4
5.1.5.2 アンケート結果	5
5.1.6 重み付けを考慮したアンケート結果の集計	5
5.2 2016年度のアンケート	6
5.2.1 概要	6
5.2.2 立場に関するアンケート	6
5.2.2.1 アンケート内容	6
5.2.2.2 アンケート結果	6
5.2.3 単心系光コネクタ提供状況に関するアンケート	7
5.2.3.1 アンケート内容	7
5.2.3.2 アンケート結果	7
5.2.4 単心系光コネクタ日本工業規格（JIS）の使用（参照／比較）状況	7
5.2.4.1 アンケート内容	7
5.2.4.2 アンケート結果	7
5.2.5 単心系光コネクタ使用／評価状況	8
5.2.5.1 アンケート内容	8
5.2.5.2 アンケート結果	8

6	まとめ	8
6.1	2009 年度のアンケートのまとめ及び規格継続の方針	8
6.2	2016 年度のアンケートのまとめ及び規格継続の方針	8
6.3	調査対象の JIS と OITDA 公表状況	9
	解説	10

まえがき

この技術資料（TP）は、2009 年度及び 2016 年度に実施した、単心系光コネクタに関する JIS の継続性の確認のためのアンケート調査の内容及び結果について記述し、JIS 廃止の申し出に至った経緯を公表するものである。

この技術資料（TP）は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この技術資料（TP）の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。光産業技術振興協会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

この技術資料は、一般財団法人光産業技術振興協会の標準に関する TP（技術資料）である。TP（技術資料）は、規格になる前段階、標準化の技術的資料、規格を補足する などのために公表するものである。

この技術資料に関して、ご意見・情報がありましたら、下記連絡先にお寄せください。

連絡先：一般財団法人光産業技術振興協会標準化室

e-mail : opt-st@oitda.or.jp

OITDA/TP (技術資料)

OITDA/TP 34/CN : 2021

単心系光コネクタに関する JIS の継続性の確認のためのアンケート調査

Questionnaire survey on the confirmation of the continuity of JISs for simplex optical connectors

序文

この技術資料 (TP) は、2009 年度及び 2016 年度に一般財団法人光産業技術振興協会の光コネクタ標準化部会にて実施した、単心系光ファイバコネクタ (以下、光コネクタという) に関する JIS の継続性の確認のためのアンケート調査の内容及び結果について記述し、JIS 廃止の申し出に至った経緯を公表するものである。

1 適用範囲

この技術資料 (TP) は、単心系光コネクタに関する JIS の継続性の確認のためのアンケート調査について記載している。

この TP では、表 1 及び表 2 の JIS を調査対象とする。名称、規格番号及び表の構成はアンケートを実施した当時のものである。

表 1—2009 年度調査対象の光コネクタ及び JIS

名称	JIS 名称	規格番号	対応する国際規格
FC	F01 形	JIS C 5970	IEC 61754-13
D4	F02 形	JIS C 5971	
OF-2	F03 形	JIS C 5972	
SC	F04 形	JIS C 5973	IEC 61754-4
F-05	F05 形	JIS C 5974	IEC 60874-17
—	F06 形	JIS C 5975	
PN	F07 形	JIS C 5976	IEC 61754-16
—	F08 形	JIS C 5977	
mini-BNC	F09 形	JIS C 5978	
μ-BNC	F10 形	JIS C 5979	
DS	F11 形	JIS C 5980	IEC 61754-9
MU	F14 形	JIS C 5983	IEC 61754-6
SC-SR (簡易 SC)	F16 形	JIS C 5985	IEC 61754-4-1
MU-SR (簡易 MU)	F17 形	JIS C 5986	IEC 61754-6-1

表 2—2016 年度調査対象の光コネクタ及び JIS

名称	JIS 名称	規格内容	規格番号	対応する国際規格
D4	F02 形	個別規格	JIS C 5971	IEC 60874-8 (廃止済)
		かん合標準	未制定	未制定
F-05	F05 形	個別規格	JIS C 5974	IEC 60874-17 (廃止済)
		かん合標準	未制定	未制定
—	F06 形	個別規格	JIS C 5975	未制定
		かん合標準	未制定	未制定
PN	F07 形	個別規格	JIS C 5976	未制定
		かん合標準	未制定	IEC 61754-16
—	F08 形	個別規格	JIS C 5977	未制定
		かん合標準	未制定	未制定
DS	F11 形	個別規格	JIS C 5980	IEC 60874-15 (廃止済)
		かん合標準	未制定	IEC 61754-9

2 引用規格

この技術資料で引用する規格はない。

3 用語及び定義

この技術資料で用いる主な用語及び定義は、**JIS C 5962** の**箇条 3** (用語及び定義) による。

現在の規格名称は“日本産業規格 (JIS)”であるが、この技術資料ではアンケートを実施した当時の名称であり質問文にも用いた“日本工業規格 (JIS)”と記載している。

4 調査の背景

標準化された光コネクタの中には、時代の変遷により使用頻度が低くなっているものもあり、規格の継続性について再考する必要性が生じた。規格の必要性を検討するには、標準化された光コネクタの使用及び生産状況について調査する必要がある。そこで単心系光コネクタ使用に関するアンケート調査を実施した。

5 アンケート調査の内容及び結果

5.1 2009 年度のアンケート

5.1.1 概要

2009 年度のアンケート調査は、“単心系光コネクタ使用に関するアンケート調査”として 2009 年 8 月から 9 月までの期間に実施し、アンケート対象者は国内の光関連企業・事業部を対象とした。アンケートの配布数は 40 件、回答数は 26 件となった。

5.1.2 立場に関するアンケート

5.1.2.1 アンケート内容

立場を次の①～③から一つ選択する。

- ①製品提供する（製造／販売・代理店を含む）。
- ②製品使用する（購入・評価等）。
- ③状況，部署により提供・使用どちらも行う。

5.1.2.2 アンケート結果

立場に関するアンケート結果を表 3 に示す。

表 3—立場に関するアンケート結果

番号	立場	回答数
①	製品提供する（製造／販売・代理店を含む）。	10
②	製品使用する（購入・評価等）。	9
③	状況，部署により提供・使用どちらも行う。	7

5.1.3 単心系光コネクタ提供状況に関するアンケート

5.1.3.1 アンケート内容

このアンケートは 5.1.2 で①又は③と回答した企業・事業部のみ対象とした。

表 1 の光コネクタに関し，提供状況について①～③からあてはまるものを選択する。③を選択する場合は②も同時に選択する。

- ①提供中：標準的に生産／販売している。
- ②未保有又は提供中止：未保有あるいは生産／販売中止している。
- ③保守用：生産／販売中止であるが保守用に提供している。

5.1.3.2 アンケート結果

単心系光コネクタ提供状況を表 4 に示す。

表 4—単心系光コネクタ提供状況

名称	JIS 名称	規格番号	①	②	③
FC	F01 形	JIS C 5970	15	1	1
D4	F02 形	JIS C 5971	2	15	1
OF-2	F03 形	JIS C 5972	0	16	1
SC	F04 形	JIS C 5973	17	0	0
F-05	F05 形	JIS C 5974	3	13	1
—	F06 形	JIS C 5975	1	14	1
PN	F07 形	JIS C 5976	5	10	2
—	F08 形	JIS C 5977	2	14	1
mini-BNC	F09 形	JIS C 5978	1	16	0
μ-BNC	F10 形	JIS C 5979	1	17	0
DS	F11 形	JIS C 5980	10	6	2
MU	F14 形	JIS C 5983	17	0	0
SC-SR (簡易 SC)	F16 形	JIS C 5985	13	4	0
MU-SR (簡易 MU)	F17 形	JIS C 5986	12	5	0

5.1.4 単心系光コネクタ日本工業規格（JIS）の使用（参照／比較）状況

5.1.4.1 アンケート内容

このアンケートは 5.1.2 で①又は③と回答した企業・事業部のみ対象とした。

表 1 の光コネクタ規格に関し使用状況を①～③から 1 つ選択する。

- ①使用中：製品の新規採用提案や継続提供中製品のために普段から使用している。
- ②保守用：客先との取り交わし仕様書を参照すれば問題ない場合や保守製品向けで使用頻度が低い。
- ③未使用：製品未保有あるいは提供中止で使用していない。

5.1.4.2 アンケート結果

光コネクタ規格の使用状況を表 5 に示す。

表 5—光コネクタ規格使用状況

名称	JIS 名称	規格番号	①	②	③
FC	F01 形	JIS C 5970	16	1	1
D4	F02 形	JIS C 5971	0	4	14
OF-2	F03 形	JIS C 5972	0	1	17
SC	F04 形	JIS C 5973	18	0	0
F-05	F05 形	JIS C 5974	2	4	12
—	F06 形	JIS C 5975	0	2	15
PN	F07 形	JIS C 5976	5	3	10
—	F08 形	JIS C 5977	1	3	14
mini-BNC	F09 形	JIS C 5978	1	0	17
μ-BNC	F10 形	JIS C 5979	0	2	16
DS	F11 形	JIS C 5980	9	7	2
MU	F14 形	JIS C 5983	18	0	0
SC-SR (簡易 SC)	F16 形	JIS C 5985	14	1	3
MU-SR (簡易 MU)	F17 形	JIS C 5986	13	1	4

5.1.5 単心系光コネクタ使用／評価状況

5.1.5.1 アンケート内容

このアンケートは 5.1.2 で②又は③と回答した企業・事業部のみ対象とした。

表 1 の光コネクタそれぞれについて、使用状況を①～③から 1 つ選択する。

- ①使用中：新規製品への採用のために積極的に使用／評価している場合や、量産製品へ採用中の場合。
- ②搭載中：新規に取り付ける事は無いが、稼働中の機器に使用中。

なお、保守等のために継続入手の必要がある場合は、入手が必要と予想される期間（年数）を数字にて“推定継続期間”を回答する。

- ③未使用：使用していない場合、あるいは製造中止品への使用で今後使用予定が無い。

5.1.5.2 アンケート結果

光コネクタの使用状況を表 6 に示す。

表 6—光コネクタ使用状況

名称	JIS 名称	規格番号	①	②	推定継続期間（年）	③
FC	F01 形	JIS C 5970	11	3	10, 10 以上, 15	2
D4	F02 形	JIS C 5971	1	2	0, 1, 5	11
OF-2	F03 形	JIS C 5972	0	0		15

SC	F04 形	JIS C 5973	15	1	15 (2 社)	0
F-05	F05 形	JIS C 5974	0	1	0	14
—	F06 形	JIS C 5975	1	1		13
PN	F07 形	JIS C 5976	3	1		13
—	F08 形	JIS C 5977	0	0		15
mini-BNC	F09 形	JIS C 5978	0	1		14
μ-BNC	F10 形	JIS C 5979	0	2	0	13
DS	F11 形	JIS C 5980	3	7	0, 1, 5, 10 (2 社)	6
MU	F14 形	JIS C 5983	12	1	15, 20	2
SC-SR (簡易 SC)	F16 形	JIS C 5985	6	2	10, 20	7
MU-SR (簡易 MU)	F17 形	JIS C 5986	4	2	1, 20	9

5.1.6 重み付けを考慮したアンケート結果の集計

表 4、表 5 及び表 6 の結果に対し下記の重みづけにより点数をつけ、規格の必要性を数値化した。

表 4 ①提供中 2 点, ②未保有又は提供中止 0 点, ③保守用 1 点

表 5 ①使用中 2 点, ②保守用 1 点, ③未使用 0 点

表 6 ①使用中 2 点, ②搭載中 1 点, 推定継続期間 年数×0.1 点, ③未使用 0 点

重み付けを考慮したアンケート結果の合計点を表 7 に、合計点の高い順に並べ替えたグラフを図 1 に示す。

表 7—重み付けを考慮したアンケート結果

名称	JIS 名称	規格番号	合計点
FC	F01 形	JIS C 5970	92.5
D4	F02 形	JIS C 5971	13.6
OF-2	F03 形	JIS C 5972	2
SC	F04 形	JIS C 5973	104
F-05	F05 形	JIS C 5974	16
—	F06 形	JIS C 5975	8
PN	F07 形	JIS C 5976	33
—	F08 形	JIS C 5977	10
mini-BNC	F09 形	JIS C 5978	5
μ-BNC	F10 形	JIS C 5979	6
DS	F11 形	JIS C 5980	62.6
MU	F14 形	JIS C 5983	98.5
SC-SR (簡易 SC)	F16 形	JIS C 5985	72
MU-SR (簡易 MU)	F17 形	JIS C 5986	63.1

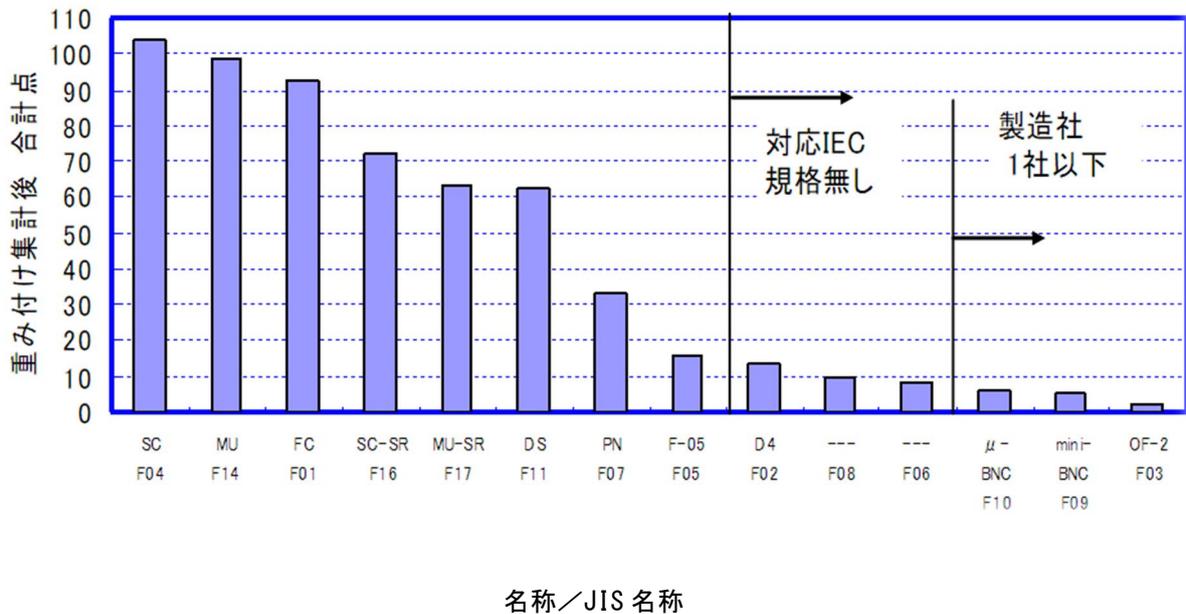


図1ー重み付けを考慮したアンケート結果（グラフ）

5.2 2016年度のアンケート

5.2.1 概要

2016年度のアンケート調査は、“単心系光コネクタに関する JIS 廃止申出のためのアンケート調査”として2016年10月から11月までの期間に実施し、アンケート対象者は国内の光関連企業・事業部を対象とした。アンケートの配布数は24件、回答数は12件となった。

5.2.2 立場に関するアンケート

5.2.2.1 アンケート内容

立場を次の①～③から一つ選択する。

- ①製品提供する（製造/販売・代理店を含む）。
- ②製品使用する（購入・評価等）。
- ③状況、部署により提供・使用どちらも行う。

5.2.2.2 アンケート結果

立場に関するアンケート結果を表8に示す。

表8ー立場に関するアンケート結果

番号	立場	回答数
①	製品提供する。(製造/販売・代理店を含む)	3
②	製品使用する。(購入・評価等)	4
③	状況、部署により提供・使用どちらも行う。	5

5.2.3 単心系光コネクタ提供状況に関するアンケート

5.2.3.1 アンケート内容

このアンケートは 5.2.2 で①又は③と回答した企業・事業部のみ対象とした。

表 2 の光コネクタに関し提供状況を①～③からあてはまるものを選択する。③を選択する場合は②も同時に選択する。

- ①提供中：標準的に生産/販売している
- ②未保有又は提供中止：未保有あるいは生産/販売中止
- ③保守用：生産/販売中止であるが保守用に提供している

5.2.3.2 アンケート結果

単心系光コネクタ提供状況を表 9 に示す。

表 9—単心系光コネクタ提供状況

名称	JIS 名称	規格番号	①	②	③
D4	F02 形	JIS C 5971	0	8	0
F-05	F05 形	JIS C 5974	3	4	0
—	F06 形	JIS C 5975	0	7	0
PN	F07 形	JIS C 5976	3	4	0
—	F08 形	JIS C 5977	1	6	0
DS	F11 形	JIS C 5980	2	5	1

5.2.4 単心系光コネクタ日本工業規格（JIS）の使用（参照／比較）状況

5.2.4.1 アンケート内容

このアンケートは 5.2.2 で①又は③と回答した企業・事業部のみ対象とした。

表 2 の光コネクタ規格に関し使用状況を①～③から 1 つ選択する。

- ①使用中：製品の新規採用提案や継続提供中製品のために普段から使用している。
- ②保守用：客先との取り交わし仕様書を参照すれば問題ない場合や保守製品向けで使用頻度が低い。
- ③未使用：製品未保有あるいは提供中止で使用していない。

5.2.4.2 アンケート結果

光コネクタ規格の使用状況を表 10 に示す。

表 10—光コネクタ規格使用状況

名称	JIS 名称	規格番号	①	②	③
D4	F02 形	JIS C 5971	0	0	8
F-05	F05 形	JIS C 5974	2	1	4
—	F06 形	JIS C 5975	0	0	7
PN	F07 形	JIS C 5976	2	1	4
—	F08 形	JIS C 5977	0	1	6
DS	F11 形	JIS C 5980	0	4	4

5.2.5 単心系光コネクタ使用／評価状況

5.2.5.1 アンケート内容

このアンケートは 5.2.2 で②又は③と回答した企業・事業部のみ対象とした。

表 2 の光コネクタそれぞれについて、使用状況を①～③から 1 つ選択する。

①使用中：新規製品への採用のために積極的に使用／評価している場合や、量産製品へ採用中の場合。

②搭載中：新規に取り付ける事は無いが、稼働中の機器に使用中。

なお、保守等のために継続入手の必要がある場合は、入手が必要と予想される期間（年数）を数字にて“推定継続期間”を回答する。

③未使用：使用していない場合、あるいは製造中止品への使用で今後使用予定が無い。

5.2.5.2 アンケート結果

光コネクタの使用状況を表 11 に示す。

表 11－光コネクタ使用状況

名称	JIS 名称	規格番号	①	②	推定継続期間（年）	③
D4	F02 形	JIS C 5971	0	0		9
F-05	F05 形	JIS C 5974	1	0		8
—	F06 形	JIS C 5975	0	0		9
PN	F07 形	JIS C 5976	1	0		8
—	F08 形	JIS C 5977	0	0		9
DS	F11 形	JIS C 5980	0	1	0	8

6 まとめ

6.1 2009 年度のアンケートのまとめ及び規格継続の方針

5.1 から対応する IEC 規格が無いものの中で、F03 形（OF-2：JIS C 5972）、F09 形（mini-BNC：JIS C 5978）及び F10 形（ μ -BNC：JIS C 5979）の 3 規格は、製造または供給者（メーカ）が 1 社以下で、技術的バックアップが得られにくい光コネクタであることがわかった。この結果に JIS 化判断の要件を援用して検討し、前述した 3 規格を廃止申出の対象規格とした。ただし当該の光コネクタが搭載されている機器が継続的に使用されていること、当該規格の参照などが行われていることなどがあり、これらの規格を OITDA 規格又は OITDA 技術資料へ移行することとした。

6.2 2016 年度のアンケートのまとめ及び規格継続の方針

5.2 から F02 形（D4：JIS C 5971）、F06 形（JIS C 5975）及び F08 形（JIS C 5977）の 3 規格は、光コネクタを提供中と回答した会社が 2 社未満であり、技術的バックアップが得られにくいコネクタであることがわかった。この結果に JIS 化判断の要件を援用して検討し、前述した 3 規格を廃止申出の対象規格とし、OITDA 規格又は OITDA 技術資料へ移行することとした。

これらの規格は当協会以外が原案作成団体となっている JIS に引用されているため、当該団体に廃止申出の可否を確認し、廃止をしても良いことがわかった。

廃止申出としなかった F05、F07、F11 については、IEC 規格の制定状況、JIS と IEC 規格との対応関係をまとめ、今後の改訂方針を検討する。

注記 JIS 化判断の要件

- a) 複数社が製造・販売しているシステムや装置等の製品の中で汎用的な製品（技術）として実績のある光コネクタ（技術）である。
- b) JIS を継続する上で十分な技術的バックアップが得られる光コネクタ（技術）である。
- c) 関連特許に関する通常実施の支障がないこと。

6.3 調査対象の JIS と OITDA 公表状況

アンケート対象とした JIS の状況及び OITDA 規格の公表状況を表 12 に示す。

表 12—JIS 及び OITDA 規格の公表状況

名称	JIS 名称	規格番号	状況
FC	F01 形	JIS C 5970	有効
D4	F02 形	JIS C 5971	廃止 OITDA/TP 29/CN:2020 へ移行
OF-2	F03 形	JIS C 5972	廃止 OITDA/TP 28/CN:2019 へ移行
SC	F04 形	JIS C 5973	有効
F-05	F05 形	JIS C 5974	有効 改正方針を検討
—	F06 形	JIS C 5975	廃止 OITDA CN 03:2020 へ移行
PN	F07 形	JIS C 5976	有効 改正方針を検討
—	F08 形	JIS C 5977	廃止 OITDA CN 04:2020 へ移行
mini-BNC	F09 形	JIS C 5978	廃止 OITDA CN 01:2017 へ移行
μ-BNC	F10 形	JIS C 5979	廃止 OITDA CN 02:2017 へ移行
DS	F11 形	JIS C 5980	有効 改正方針を検討
MU	F14 形	JIS C 5983	有効
SC-SR (簡易 SC)	F16 形	JIS C 5985	有効
MU-SR (簡易 MU)	F17 形	JIS C 5986	有効

OITDA/TP 34/CN : 2021

単心系光コネクタに関する JIS の継続性の確認のためのアンケート調査 解説

この解説は、この技術資料（TP）に記載した事柄を説明するもので、技術資料（TP）の一部ではない。

1 制定の趣旨

この技術資料（TP）は、単心系光コネクタに関する JIS の効率的な維持及び管理を目的として、光コネクタ及び JIS の使用状況について調査を実施した結果のまとめである。

2 制定の経緯

JIS を制定してきた多数の単心系光コネクタの中には、時代の変遷により使用頻度が低くなっているものもあり、また IEC 規格化されていないもの、IEC 規格が廃止されたものもある。必要性が低くなったと考えられる JIS は、使用状況の調査結果等を元に廃止申出の検討及び実施をし、より必要性の高い JIS の制定や改正を推進することが光産業の振興及び規格利用者の利便性に寄与すると考えている。

以上の理由により、光コネクタ標準化部会は 2009 年度に“単心系光コネクタ使用に関するアンケート調査”，2016 年度に“単心系光コネクタに関する JIS 廃止申出のためのアンケート調査”を実施した。アンケート対象は国内の光コネクタを製造、販売、使用している企業及び事業部とした。アンケートは 2009 年 8 月から 9 月及び 2016 年 10 月から 11 月に行った。

これらのアンケート結果を元に 6 件の JIS の廃止申出を行い、すでに廃止されている。また当該規格の技術的内容を変更することなく、OITDA 規格または OITDA 技術資料を作成した。

この OITDA 技術資料（TP）は、光コネクタ標準化部会の承認を得て、令和 3 年 3 月 31 日に制定した。

3 審議中に特に問題となった事項

この技術資料（TP）の作成にあたり、審議中に問題となった事項及び審議結果は、次のとおりである。

- a) アンケート結果の公表にあたり、事前に回答者の承諾を得る必要ないかという指摘があった。当時のアンケートの依頼文書を確認し、“統計処理した後の集計結果を公表する場合は、個々の回答社名及び個別の回答内容につきましてはいっさい公表しない”という主旨の但し書きがあることを確認した。審議の結果、統計処理後の内容のみ公表するため、新たな承諾は必要ないという結論になった。
- b) アンケートの名称は“単心系光コネクタ使用に関するアンケート調査”及び“単心系光コネクタに関する JIS 廃止申出のためのアンケート調査”としていた。年度によって名称が異なり、“JIS 廃止申出のため”という説明も事実としては正確ではあるが、この技術資料の名称にそのまま用いると、内容がわかりにくいのではないかという指摘があった。審議の結果、技術資料の名称は“JIS の継続性の確認のため”と置き換えることにした。

- c) “日本工業規格（JIS）”という記載があるが、現在は“日本産業規格（JIS）”であるので注記が必要ではないかとの指摘があった。審議の結果、アンケートを実施した当時の名称であり質問文にも用いた名称にした、との記述を入れた。

4 技術資料（TP）作成・検討メンバ

TP 作成・検討メンバの構成表を、次に示す。

氏名	所属
磯野 秀樹	富士通オプティカルコンポーネンツ株式会社
大久保 靖明	本多通信工業株式会社
平 淳司	株式会社精工技研
中水流 和美	京セラ株式会社
山内 勲	アダマンド並木精密宝石株式会社
渡辺 靖弘	三和電気工業株式会社

(執筆者 大久保 靖明)

5 原案作成部会の構成表

この技術資料（TP）は、次に示す原案作成部会において、2020年度に原案取纏め及び審議を行った。

光コネクタ標準化部会 構成表

(2020年度)

	氏名	所属
(議長)	阿部 宜輝	日本電信電話株式会社
(メンバ)	大久保 靖明	本多通信工業株式会社
	片木山 直幹	日本航空電子工業株式会社
	古川 節雄	一般財団法人日本品質保証機構
	佐武 俊明	佐武コネクタ研究所
	渋谷 隆	株式会社白山
	平 淳司	株式会社精工技研
	田中 祐和	株式会社フジクラ (2020年12月まで)
	廣瀬 真幸	株式会社フジクラ (2021年1月から)
	辻 由紀子	富士通株式会社
	中水流 和美	京セラ株式会社
	中野 剛行	古河電気工業株式会社
	山内 勲	アダマンド並木精密宝石株式会社
	熊 月	住友電気工業株式会社
	渡辺 靖弘	三和電気工業株式会社
(オブザーバ)	磯野 秀樹	富士通オプティカルコンポーネンツ株式会社

	岡 田 直 也	経済産業省 商務情報政策局
	米 田 竜 司	経済産業省産業技術環境局
	清 水 祐 貴	一般財団法人日本規格協会
(事務局)	板 倉 幸 雄	一般財団法人光産業技術振興協会
	中 野 博 行	一般財団法人光産業技術振興協会

禁無断転載

この OITDA 規格の TP (技術資料) は, 一般財団法人光産業技術振興協会
ファイバオプティクス標準化部会 光ファイバセンサ専門部会で審議・取纏
めたものである。

この資料についてのご意見又はご質問は, 下記にご連絡ください。

TP (技術資料) :

単心系光コネクタに関する JIS の継続性の確認のためのアンケート
調査

(Questionnaire survey on the confirmation of the continuity of
JISs for simplex optical connectors)

TP 番号 : OITDA/TP 34/CN:2021 第 1 版

第 1 版 公表日 : 2021 年 3 月 31 日

発行者 : 一般財団法人光産業技術振興協会
住所 : 〒112-0014 東京都文京区関口 1-20-10
住友江戸川橋駅前ビル 7F
電話 : 03-5225-6431 FAX : 03-5225-6435
e-mail : opt-st@oitda.or.jp (標準化室)